

メラトニン について

メラトニンは明暗刺激で分泌が調整されている中枢神経ホルモンで、夜間に多く分泌される日内リズムを持ち、睡眠・覚醒といった生体内リズムの他に発がん抑制や免疫調節など多様な作用があります。近年、活性酸素を消去する抗酸化作用を有することが証明され、酸化ストレスを抑制することで細胞を保護し、種々の疾患の発症や加齢といった現象への関与も明らかとなり注目されています。

排卵過程においては卵胞内で多量の活性酸素が発生し、一方その防御機構として卵胞内には種々の抗酸化物質が存在し酸化ストレスから卵子を防御しています。この抗酸化作用は年齢が高くなると低下することが知られています。メラトニンが卵胞内で抗酸化物質として働き、酸化ストレスから卵子を保護することにより、妊娠の可能性を高めてくれることを期待して不妊治療と併用して使用されることがあり、実際に体外受精において受精率や良好胚率が向上し有用であったという報告があります。ご興味のある方はスタッフにお申し出ください。

毎日、メラトニン錠3mgを1錠、22:00ごろに服用します。これは、実際の日内リズムに合わせて、睡眠中から翌朝まで有効な血中濃度を保つためです。

DaVinci Laboratories of Vermont
メラトニン 3 MG
(180錠 / 6か月分)

販売価格 **9,720**円 (税込)

内服方法 1日 / 1錠 (22時ごろ)



©院内受付でご購入いただけます。